



刊 行 の 辞

New journal launching address

岩 田 修 二

Shuji Iwata

地理的な知識が人類にとって古くから欠くことのできないものであったことは、旧石器時代の数万年前に、すでに地図が作られていることから明らかである。社会の複雑化に伴って、地理的な情報の重要性は近年ますます重要になってきている。地理情報科学 (GIS: Geographical Information Science) とその技法 (GIS: 地理情報システム) は地理学以外の学術分野や、行政、商業など各方面で広く研究・利用されるようになった。また観光や生涯教育が盛んになるにつれて地理情報・地域情報に対する社会のニーズは増加する一方である。

このような状況に日本地理学会はどのように対応すべきか。

日本地理学会の機関誌「地理学評論」は、会員による地理学の学術研究成果を公表するための学術雑誌であるので、これまで、社会各方面からの要請には十分応えてこなかったし、地理学会から社会への情報発信としても不十分であった。こうした問題点をカバーするために、地理学の学術研究成果に基づいた社会的実践を可能にする論文を発表する場が新たに必要であると我々は考えた。

これは、日本地理学会が 2005 年 10 月に社団法人となり、今後、社会に対する貢献を、より一層求められることと呼応する。

E-journal GEO は日本地理学会の査読付き第二機関誌として位置づけられる。これは、学術専門誌の「地理学評論」とは異なり、地理学での研究成果、あるいは、それに基づく提言を社会に向けてわかりやすく情報発信することを目的にする。「地理学での」を「地理学者による」と言い換えてもよい。これによって地理学の社会的貢献が一層進むことが刊行のねらいである。

本誌は、電子ジャーナル形式で刊行する。より多くの人々の目に触れやすく、速報性に富み、コストがかからないからである。創刊後 5 年を目途に、科学技術振興機構の科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) を利用した本格的な電子ジャーナル化の実現を目指している。

日本地理学会の全力を挙げて有益な地理関連情報が発信できるものにする覚悟なので、忌憚のないご意見をいただきたい。多くの方々のご支援をいただければ幸いです。



岩 田 修 二 (いわた しゅうじ)

社団法人 日本地理学会理事長

首都大学東京 都市環境学部 教授